



■いかずちの子■

カトリック町田教会
町田市の中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512



<http://www.machida-catholic.jp/>



マリアは答えた「わたしは
主のはしためです。お言葉
どおり、この身になります
ように」(ルカ1,38)

義とは神の正しさ

主任司祭 アシジの聖フランシスコ 田中 隆弘

神学生時代のことですが、
神学生の共通の認識というも
のがあったのですが、それは
「神学校に住む神父、神学生
は皆奇人変人ばかりだ」とい
う思いなのか確信でした。
しかし、ところがそれと同
時に、それぞれ神学生各自が
心の中でもう一つの共通の思
いとして、「その奇人変人の
中で一番まともなのはたぶん
自分だろう」ということでし
た。まあ、私もそう思ってい

たのですが……。
ですから、そんな人たちが
集まった集会の議論はたいへ
んなものでした。はじめて何
かの委員会に出席した時の先
輩たちのその議論の様子は、
いまでも忘れることができま
せん。

しかし、そのような場を何
回も何年も経験しているうち
にわかっていくことがいくつ
かあるのですが、その一つに、
ある人が「けしからん」道理

にはずれていて、はなはだよ
くないと言って譲らないでい
る場合の多くは、自分の「正
義」「常識」に反するからで
あって、それで、その人はそ
んなことは「ゆるせない」と
言っているということでした。
つまり、結局は自分の「正
義」の無理強いなのです。

福音書の中でただ「義」と
訳されるところは「神の正し
さ」とも訳されるところが
あるようです。わたしたち
は「義」のため「正義」のた
めということを聴いたり語つ
たりするわけですが、しかし
その際に忘れてならないの
は「義」とか「正義」は誰に
とつてなのか？ ということ
です。

そして、その際、わたしは
ちキリスト者にとつて問うべ
きことは、その「義」「正義」
は「自分の正しさ」なのか
「神の正しさ」なのか？ と
いうことです。

心の貧しい者、そして力を
誇らない者として、ほんとう
に「神の正しさに飢えかわ
き」、それを求める者として
生きる恵みを聖母マリアのと
りつぎのうちに共に祈りま
しょう。



生涯養成委員会とともに

運営委員 水野 貴久子

2009年私たちの町田教
会聖堂共同体は運営を新たに
して専門委員会に生涯養成委
員会が加わりました。「町田教
会の信徒の育成を担当し、信
仰の理解および霊性を養う」
と、大きな役割を担うことが
規約に記されています。キリ
ストが12使徒を通して教会に
託された使命は何か？ その
使命を果たすために何をする
か？ この課題と取り組む専
門委員会と理解しています。

司教団のメッセージは、印刷
配布しています。

今年、町田教会の保護の聖
人、聖ヤコブの祝日にちなん
で、皆さんが戴いている賜物
や信仰生活、経験から学ぶ機
会として「聖ヤコブの集い」
を催しました。先に「雷の
子」にサンチャゴ・デ・コン
ポステラ巡礼記を書かれた白
柳弘幸さんに講演をお願いし
ました。2025聖年の希望
の巡礼の年に相応しいお話で
した。続いての集いの場では
参加者の交流を深め、教会行
事や諸活動への参加を呼び掛
けて共同体の活気が増すよう
に願いました。

私が子供の頃は、ゴミサは
祭壇に向かって立つ司祭に
よってラテン語で行われ、司
祭の背中を見ながら、美しく
流れるようなラテン語聖歌を
歌いました。ご存知の通り、
現在は日本語で司祭と信徒が
祭壇を囲む形に変わっていま
す。しかし80年たってもゴミ
サそのものは同じです。

生涯養成委員会が皆さまの
信仰生活を豊かにし、教会に
集う仲間が増えるお役に立っ
ていれば本当に嬉しいのです。

キリストの誕生から約二千
年間変わらぬものを学ぶため
に、司祭、修道者、聖書学者
をお招きして講座を開いてい
ます。激動する世界で信仰を
守る道を示している教皇様や

働いてみませんか？ 様々な
経験をお持ちの方、外国出身
の方もお待ちしています。
長年私を導き支えてくだ
さった皆様に感謝申し上げます。

八王子教会巡礼

渡邊 清行

聖年——一生に何度出会えるかの恵みの年。巡礼が推奨されている。

生涯養成委員会の案内で八王子教会への巡礼に参加した。九月二十八日正午前、二台のマイクロバスで、総勢五十数人が町田教会を出発した。

朝曇りだったが、昼頃から暑さも加わり烈しい秋の日射しとなった。

バスは補助席を繰り出して満席状態。小生は出発前から屈めた膝に痛みが走った。周りでは、ご婦人方が異語で交わす賑やかな会話が飛び交うしばらくすると、昼食がはじまり、昼ご飯の臭いが車内に溢れた。想定していなかった事態だが、巡礼は苦難を分かち合うという古今東西の鉄則を想い、気分を鎮めた。

バスは町田街道を一路八王子へ。三十年ほど前、相原付近で路傍にあった八木重吉父子の墓を訪ねたが、今や家並が続きそれらしい風景はない。十三時、八王子教会に到着した。聖堂はファサードに大きな丸窓があり、旧イグナチオ教会に似ていた。内部は伝統的バシリカ様式で、ユリ形の支柱が身廊を囲んでいた。座席には『着席可』のマーク



がひとつひとつに貼られ、訪問者への配慮がみえた。祭壇の右側壁にはパイプオルガンの管がきらめき、左にはマリア画像が掲げてあった。中央のキリスト磔刑十字架はやや見上げる位置にあったが、尖頭形の天井が高く、祭壇付近が整然と感じられた。

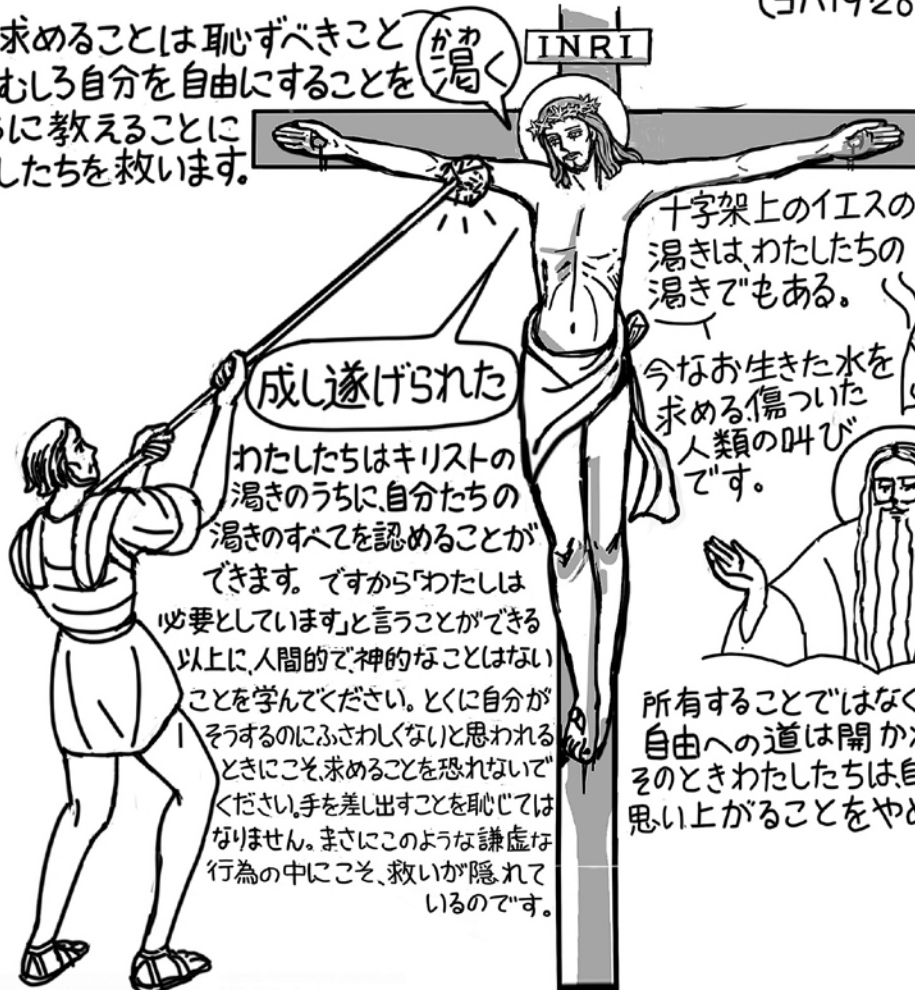
到着後、高木神父らの出迎えを受け、記念撮影をした。高木神父は町田教会を離れて十数年になるが元氣な様子。半袖シャツのポケットに、肩から吊るしたスマホを入れていたのが目新しい姿だった。

神父の講話は、小生難聴のためほとんど聞き取れなかったが、八王子教会の成り立ちについて話した様子。それによると、明治年間に外人神父が設立した聖堂は火災と戦災に遭い、再再建されて今日に

『く』話講世十四オレオ 宗教

イエスの生涯での暗闇の時のことは『く』成し遂げられた
(ヨハ19:28-30)

イエスは、求めることは恥ずべきことではなく、むしろ自分を自由にするために、わたしたちに教えることによって、わたしたちを救います。



十字架の上のイエスの渇きはわたしたちの渇きでもある。

今なお生きた水を求める傷ついた人類の叫びです。

所有することではなく、求めることによって自由への道は開かれます。なぜなら、そのときわたしたちは自分で自分を満たせると思い上がることをやめるからです。



カトリック中央協議会
(イラストルポ・池永廣美)

至っているという。

聖堂裏にはルルド庭園があった。出現のマリア像に手を合わせるベルナデッタ像の構図が良く、花壇には秋の紅い花が咲いていた。残念ながら隣に高層マンションが聳えて、景観を邪魔しているようで気の毒だった。

最後の行事、聖体降臨式は久しぶり。かつては聖体行進をした記憶がある。高木神父は紅白の祭服を着用、恰幅良く凛とした姿に町田時代の面影があった。

予定行事を終えて、十七時には町田教会に戻った。お世話の方々に感謝。

ガダルカナル慰霊の旅

可児 祐子

ビサレ教会・テナル教会

汚れなきマリア修道会に「マリアと共に祈る十字架の道行」という冊子がある。その最後の頁に「これはソロモン諸島ガダルカナル島で行われている祈りで、サレジオ会の晴山ラップ神父が持ちかえったもの」とあった。1942年日米戦が繰り広げられ、餓島と言われたこの島に、こんな祈りがあるのかと驚いた。

戦後80年のこの夏、私は全国ソロモン会（遺族や有志で構成）主催の「ガ島慰霊巡拝

の旅」に参加した。40名程の

参加で慰霊祭は同行の僧侶によったが、現地は94%がキリスト教徒で、行程にはビサレ教会、テナル教会訪問もあった。これらのカトリック教会は、戦中、島民の犠牲者少なくなかったにも関わらず、日本の傷病兵を収容看病していたという。サマリア人の近いテナル教会には日本兵の鎮魂碑がきれいに維持管理されていた。

イル川河口の他、ムカデ高地、ギフ高地、アウステン山日本の駆逐艦が沈むビーチ等、島には各地に日本軍の慰霊碑があるのだが、どの村でも慰霊団の訪問を歓迎してくれた。聖歌や踊り、果物に椰子ジュース。当然のように許し歓迎する、島民の愛に溢れる行いに圧倒された。



カテドラルへ

日曜日、ラップ神父が事前にミサ時間を教えてくださったので、ホニアラ市中心部にあるカテドラル、ホーリークロスチャーチの朝ミサに与る事ができた。聖堂の正面には日米の国旗。聞けば「毎年八月だけ掲げて祈っている」そう。英語の説教は殆どわからなかったがJOYFULの単語だけは聞きとれた。喜びに満ちた心、日本に戻りそんな島民の信仰にとっても倣えそうもないが、四旬節にはまた、あの道行きに行ってみようと思った。

FOR THE SOUL

OF THE VICTIMS OF
SORONISLANDERS AND
THE JAPANESE SOLDIERS
とミサを依頼した。

日、米、ソロモン、それぞれ苦しみを経て友好の花が開いている。島民の寛容な心と深い信仰に触れる旅となった。

夏期学校（8月1～2日）

小学6年 森山 綾篤

今年も夏期学校は御岳山に行きました。しかし、初日は天候が悪くてハイキングができなかったことが残念でした。ハイキングをする予定の間には、御岳山で見たもののうち、4文字でできている言

葉をたくさん見つけるというミッションをやりました。毎年、このミッションをやっているのですが、今回は雨のため部屋の中でやることになりました。2つのチームに分かれて多くの言葉を見つけられたチームの勝ち。勝負は僕たちのチームが勝利し、賞品のお菓子をゲットしました。夜には、毎年行っている花火をしましたが、雨のため広場ではなく、宿の小さな庭でやりました。6年生だけしかできない七色花火を、ぼくが代表してやることになりました。火が強くて少し怖かったですが、次々と色が変わって



ワンポイント聖書

温故知新

⑨

クレド Credo 私は信じます

今回はご要望に応え、クレドを取り上げよう。町田教会では何年か前から時々Credo, Domineというラテン語混じりの新聖歌が歌われる。ラテン語は動詞に活用があるから、「私は」と言わなくてもCredoだけで「私は信じます」となるのだが、ヨハネ福音書をヴルガタ訳で読むと、9章38節ではまさにそのままの表現に出会う。生まれつき盲目だった人が主イエス様に「あなたは人の子を信じるか」と問われ、「あなたと話しているのが、その人だ」と聞くと、「主よ、信じます」Credo, Domine」と言っただけで、実に感動的なその場面だ。しかし、クレドはそういう本来の意味以外に、「信仰宣言」の意味をも持つに至っ

た。ミサではことばの典礼終盤で、使徒信条かニケアコンスタンチノープル信条が唱えられる。それがCredoで始まるため、信仰宣言自体がクレドという呼称になったのだ。使徒信条は2世紀に西方教会でできたからか原文はラテン語だが、4世紀に公会議で成立のニケアコンスタンチノープル信条は原文がギリシャ語で、Itarevno（ピステウオ＝Credo）で始まる。共にキリスト教の根幹をなす信仰簡条を表し、それを私が「信じます」と表明する重要な宣言なのだ。

ただ、最後にちよっぴり私見を述べてもいいのなら呟きたい。「神が愛だからこそ、私は主の福音を信じた。だから信条にも愛の一語があつたらしいのになあ」と。

余生風 佐藤 正明

いくところを近くで見れて、明るくきれいでした。
翌日は天気良かったので、ハイキングをすることができました。昼食後には、約2kmの山道の下山を始めました。



普段の街の道より角度があつて、ゴツゴツしていて長く感じられました。

山道を下りてきたときにはみんな疲れていて、僕も疲れましたが、下りるときにみんなと喋り話が出来たことが楽しかったです。

部屋の中では、いつまでも寝ない、朝はなかなか起きない低学年の子がいて、下の学年をまとめることが大変でしたが、いつもはこのようなことはできないので、よい経験になりました。大変なことともたくさんありましたが、思い出に残る夏期学校になつてよかったです。来年もみんなの

俳句

戸隠の鬼も遊ぶや紅葉狩
刺草も活ければ秋の花となり
秋光や葉のなき林の縞模様

西山多美子

蜜豆の底に唐津の跳ね鬼
戦いの無き地で仰ぐ花火かな

田中美智子

終戦日マリアの像に花あふれ
風ふけば領きあひて秋桜

結城万紀子

ネット句会「叢」より

思い出に残る夏期学校になつてほしいです。

中高生会練成会

(8月17・18日)

中学3年 大隈 新

8月に錬成会がありました。1日目は第二ミサに参加した後、夜のバーベキューのための買い物をして、皆で道具の準備など協力して準備しました。

また、リーダーが珍しい買い物をしてくださいました。なんとワニの肉です。皆で盛り上がりました。なかなか美味で、僕がほとんどいただきました。自分たちで焼いたお肉や料理はとても美味しかったです。神父様と一緒に食卓を囲み、楽しいひと時を過ごしました。

2日目は、山梨県にある富士急ハイランドへ行きました。朝6時からおきてバスで向かいました。アトラクションに乗れる人も乗れない人も楽し



めていました。お昼ご飯の時間になり、みんなでお昼ご飯を食べました。いつも食べているレストランではなく、もう一つのレストランで食べました。いつもとは違うレストランで食べたので、メニューも違い、新鮮でした。このように少ない人数ながらも皆で親睦を深めることが出来、教会の若い仲間として過ごす有意義な時間となりました。

教会の皆様のおかげだと思えます。これからもどうぞよろしくお願い致します。



ちょっといい話

高齢者向け施設で生活するKさん、Sさんご夫妻の好意で日曜日のミサの送迎を受け、いつもの明るい笑顔で教会に通っておられます。

ある日、教会から施設に送り届けたS夫人が、「あと何かご希望がございますか？」と尋ねると、当意即妙、洒落な受けごたえで知られるKさん、すかさず「あなたの歌を聞きたい」と返したと。

聖歌隊の歌姫S夫人のいわく「ええ、聖歌を一曲歌ってさしあげました」

ちなみに、普通の送迎サービスに歌はついていません。

信者動静

2025年4月～9月

(個人情報のため、削除しています)